



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 TOWA株式会社

上場取引所 東

コード番号 6315 URL <http://www.towajapan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 博和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 柴原 信隆

TEL 075- 692- 0251

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,801	11.9	194	67.9	158	73.9	79	85.4
2019年3月期第3四半期	21,341	5.9	606	81.2	606	81.0	540	75.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 281百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 501百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	3.17	
2019年3月期第3四半期	21.62	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	43,563	27,758	63.5
2019年3月期	43,968	27,722	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 27,659百万円 2019年3月期 27,616百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		16.00	16.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,741	9.0	718	23.4	616	34.4	438	50.1	17.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	25,021,832 株	2019年3月期	25,021,832 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	12,600 株	2019年3月期	12,526 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	25,009,263 株	2019年3月期3Q	25,009,485 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想等に関する詳細は、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、全体として緩やかに回復しているものの、米中貿易戦争の長期化や中国経済の減速、英国のEU離脱問題に加え、中東情勢などの地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続いております。日本経済につきましては、堅調な個人消費などの内需が景気をけん引し、緩やかに回復しておりますが、海外経済の減速を受け、製造業を中心に輸出や生産の弱さが一段と増しており、先行きについては予断を許さない状況が続いております。

半導体業界につきましては、米中貿易戦争による先行き不透明感はあるものの、中国での半導体内製化の加速や、次世代通信規格「5G」関連向けの需要増加を受け、中国・台湾顧客を中心に設備稼働状況が改善しております。

このような状況のもと、当社グループは、微細化、薄型化、モジュール化などが進み品質要求が高まる先端品の生産に対し、高い優位性を持つTOWA独自のコンプレッション技術を使ったモールドニング装置の拡販に努めました。また、次世代パッケージ技術である超大判PLP（パネルレベルパッケージ）向けの本格的な量産機を業界で初めて出荷するなど、半導体モールドニング装置のリーディングカンパニーとして市場に様々なソリューションを提供いたしました。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高188億1百万円（前年同期比25億39百万円、11.9%減）、営業利益1億94百万円（前年同期比4億12百万円、67.9%減）、経常利益1億58百万円（前年同期比4億48百万円、73.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円（前年同期比4億61百万円、85.4%減）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、TOWA独自のコンプレッション技術を使用した装置販売が好調で、足元は堅調に推移しておりますが、米中貿易戦争の影響を大きく受けた第1四半期連結会計期間（2019年4月～6月）の落ち込みにより、売上高163億71百万円（前年同期比28億90百万円、15.0%減）となりました。

収益面では、収益性の高いコンプレッション装置の売上が伸長した結果、第2四半期連結累計期間（2019年4月～9月）までの赤字が解消し、営業利益96百万円（前年同期比3億54百万円、78.6%減）となりました。

#### [ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、売上高12億15百万円（前年同期比38百万円、3.3%増）、営業利益1億81百万円（前年同期比24百万円、15.9%増）となりました。

#### [レーザ加工装置事業]

レーザ加工装置事業における経営成績は、工作機械受注の落ち込みや自動車販売の不振などによる足元の厳しい市場環境と、米中貿易戦争による先行き不透明感から、電子部品メーカー各社の設備投資への慎重さが続いた結果、売上高12億15百万円、営業損失82百万円となりました。

なお、レーザ加工装置事業につきましては、前第2四半期連結会計期間（2018年8月）にオムロンレーザーフロント株式会社の株式を取得し、新たにセグメントを追加いたしました。そのため、前年同期比を記載しておりません。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,651,770	7,987,763
受取手形及び売掛金	9,352,845	8,611,640
電子記録債権	188,866	72,382
商品及び製品	1,342,004	1,740,998
仕掛品	6,294,751	4,483,936
原材料及び貯蔵品	645,928	597,725
その他	1,361,554	733,454
貸倒引当金	△2,645	△1,690
流動資産合計	26,835,077	24,226,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,167,032	14,098,547
減価償却累計額	△10,245,271	△10,430,001
建物及び構築物 (純額)	3,921,760	3,668,546
機械装置及び運搬具	10,685,952	10,881,112
減価償却累計額	△8,108,730	△8,473,616
機械装置及び運搬具 (純額)	2,577,221	2,407,495
土地	4,366,480	4,356,700
リース資産	17,459	804,355
減価償却累計額	△15,729	△53,102
リース資産 (純額)	1,729	751,253
建設仮勘定	665,207	2,114,609
その他	3,501,952	3,542,987
減価償却累計額	△2,917,120	△3,060,430
その他 (純額)	584,831	482,557
有形固定資産合計	12,117,231	13,781,162
無形固定資産	657,648	738,581
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	145,061	176,292
その他	4,214,072	4,640,878
貸倒引当金	△367	—
投資その他の資産	4,358,766	4,817,170
固定資産合計	17,133,646	19,336,914
資産合計	43,968,723	43,563,126

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,631,020	1,377,401
電子記録債務	953,563	922,368
短期借入金	5,500,000	5,400,000
1年内返済予定の長期借入金	910,000	1,230,000
未払法人税等	162,353	235,408
製品保証引当金	129,865	120,064
賞与引当金	544,231	319,106
役員賞与引当金	33,012	3,672
その他	1,621,794	2,027,513
流動負債合計	11,485,841	11,635,536
固定負債		
長期借入金	4,086,875	3,175,625
退職給付に係る負債	666,803	697,594
その他	6,242	296,170
固定負債合計	4,759,921	4,169,390
負債合計	16,245,762	15,804,926
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,932,627	8,932,627
資本剰余金	462,236	462,236
利益剰余金	16,715,938	16,537,754
自己株式	△11,305	△11,374
株主資本合計	26,099,497	25,921,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,417,201	1,942,772
為替換算調整勘定	53,368	△246,244
退職給付に係る調整累計額	45,968	41,392
その他の包括利益累計額合計	1,516,538	1,737,920
非支配株主持分	106,925	99,035
純資産合計	27,722,961	27,758,200
負債純資産合計	43,968,723	43,563,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	21,341,525	18,801,702
売上原価	16,147,835	14,268,370
売上総利益	5,193,689	4,533,331
販売費及び一般管理費	4,586,899	4,338,744
営業利益	606,790	194,587
営業外収益		
受取利息	8,379	36,978
受取配当金	38,606	39,685
雑収入	108,906	67,804
営業外収益合計	155,893	144,467
営業外費用		
支払利息	23,575	39,295
為替差損	99,221	132,120
雑損失	33,615	9,601
営業外費用合計	156,412	181,017
経常利益	606,271	158,037
特別利益		
固定資産売却益	14,853	1,997
特別利益合計	14,853	1,997
特別損失		
固定資産除却損	9,217	1,203
その他	131	-
特別損失合計	9,349	1,203
税金等調整前四半期純利益	611,775	158,831
法人税等	73,580	93,303
四半期純利益	538,195	65,528
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,578	△13,684
親会社株主に帰属する四半期純利益	540,773	79,212

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	538,195	65,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△827,014	525,570
為替換算調整勘定	△200,255	△304,775
退職給付に係る調整額	△12,250	△4,575
その他の包括利益合計	△1,039,519	216,220
四半期包括利益	△501,324	281,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△498,777	300,594
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,546	△18,845



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より一部の在外子会社について、IFRS第16号を適用しております。

これにともない、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用权資産及びリース負債を認識するとともに、使用权資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しています。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間期首の固定資産が342,950千円増加、流動負債が128,104千円減少、固定負債が328,303千円増加、利益剰余金が142,752千円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。